

グループ活動の中で生じた心の悩みの総括 —小規模大学における学生相談室の工夫—

Overcome of baggage of university students by using group activities
- a devise in a small counseling room -

和田百合子^{*1}

Yuriko WADA^{*1}

小規模大学の学生相談室という制約の中で教職員とコラボレーションを行い、描画を活用したグループ活動を実施した。この中で参加者に発言や描画の変化があった。参加者の多くは、他者の悩みや克服に共感し、未来に希望をもって、自分の悩みを総括する作業を行った。参加者が、自分の悩みと克服を披露し、互いが共感しあう、心の悩みの卒業式に相当する場を提供できた。このような変化が起きた要因の検証を描画の結果を中心に行った。なお本研究成果は以下の学会で発表した。学生相談における描画の研究、実践を行っておられる吉田昇代先生（名古屋造詣大学）に特に座長をお願いできて、貴重なご指導を頂戴した。今後の研究に活かしたい。

グループ活動の中で生じた心の悩みの総括—小規模大学における学生相談室の工夫—,和田百合子,日本学生相談学会第29回大会（平成23年5月22日 於：立教大学）

*1 美作大学 児童学科 准教授・修士（教育学） Assoc.Prof., Dept.of Child Studies, Mimasaka Univ., M.(education)